

# ごしょう はなし 五小のエコな話

校長 松本 雅史

おはようございます。

今朝は、トイレに関するエコな話をしたいと思います。

私たちが、トイレで用を足した後に流す水は、水道水です。これは飲める水です。家で料理や食器洗いに使う水、蛇口から出る水は飲める水ですが、私たちはそれと同じ水をトイレでも使っています。日本の水道水は、どの県にいても飲めます。蛇口から出る水が飲めるのは、世界の中でも日本をはじめとするごく限られた国だけだそうです。世界では、水は買って飲むものというのが常識です。でも日本では、公園の蛇口から出る水でさえ飲むことができます。特に東京都の水道水は、高度浄水処理とって特別に処理された水で、以前は商品化もされてペットボトルで売られてもいました。その水を東京に住む私たちは、トイレでも使っているのです。これは、世界的に見ると実に贅沢なことです。

しかし、この小平第五小学校は違います。実はこの校舎の地下には大きな水槽が設置されていて、そこには雨水がためられています。五小のトイレは、その水をモーターでくみ上げて使っています。新校舎も地下に雨水をためる水槽があって、トイレの水はそこから使っています。さらに雨水から悪い細菌が出ないように、消毒液を自動で入れて殺菌する仕組みもついています。この雨水をトイレで使う仕組みは、五小の他に四小、六小、七小、十小、花小、花南中にもあるそうです。

その他に、この学校の屋上には、大きな太陽光発電パネルが付いています。職員玄関に発電量を知らせてくれるパネルがありますので、興味のある人は見てください。校舎内の電灯は、消費電力がとても少ないLED電球です。さまざまエコの工夫が凝らされた校舎です。後は、使う私たちの心がけが大切です。電気やエアコン、ヒーターなどの電源をこまめに切るなど、節約しようという気持ちと行動で、さらにエコな学校にしていきましょう。

これで今朝の話を終わります。